

# 小木の子 われら

校区内  
全戸回覧

令和7年5月1日発行

今年度もキーワードは「チャレンジ（挑戦）」です  
～ 『チャレンジには失敗はつきもの』の巻 ～

校長 本間 智英

4月8日（火）、新入生8名を迎え、全校64名で小木小学校の令和7年度がスタートしました。

新入生はもちろん、2年生以上の子どもも学年が1つ上がり、**希望に満ちあふれた表情**で登校してきました。

小木小学校に勤める教職員一同、この日の子どもたちの表情を忘れることなく、令和8年3月24日（火）の卒業式でも、子どもたちが**次のステップに向かって希望に満ちた表情で進学、進級**できるよう指導・支援してまいります。よろしくお願いいたします。



入学式準備を頑張る6年生（7日）

さて、今年度、小木小学校では大きな変化があります。

- ・2年生と3年生が1学級になりました（複式学級）
- ・2年生と3年生は、国語の授業を同じ教室で受けます（担任による直接・間接指導）
- ・3年生の算数、社会、理科、総合的な学習の時間は教頭が担当します
- ・音楽、図工は、2学年一緒に学習します（1・2年生、3・4年生）
- ・教職員の人数が二人減りました（級外の教務主任でなく、学級担任と教務主任の兼務）

子どもや教職員にとっても「初めて尽くし」です。また、令和8年度は、**小木小学校創立150年の記念すべき年**でもあります。これまで積み上げてきた歴史と伝統を大切にしながら、持続可能な教育活動を創造する、今年度を新たな**チャレンジ（挑戦）の年**と位置付けています。**小木っ子を中心に**おき、保護者、地域の皆様と一緒に、小木小学校のこれからを考えていく1年になりそうです。

また、始業式でも、子どもたちに「**チャレンジ（挑戦）しよう**」と話しました。しかし、チャレンジ（挑戦）には、「**失敗**」が**つきもの**です。数回のチャレンジで成功することもあれば、何回やっても成功しないこともあります。子どもたちが、**あきらめずに何度もチャレンジするには、仲間や私たち大人の存在も重要**だと考えています。詳しくは、次回、全校朝会、学校だより「**努力のつぼ**」（仮名）でお伝えする予定です。

保護者、地域の皆様には、引き続き、小木っ子のよりよい成長のために、温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 小木の子 われら

校区内  
全戸回覧

令和7年6月3日発行

## 「努力のつぼ」

～「継続は力なり」「今度のつぼは大きいね」の巻～

校長 本間 智英

5月24日（土）の運動会では、保護者、地域の皆様から子どもたちへ大きなご声援をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは、練習以上の頑張りを見せてくれました。**感動の一日**でした。



さて、下記は『朝日作文コンクール 子どもを変えた親の一言 作文25選』（1998年 明治図書）の中に掲載

ふれあい種目 親子二人三脚

された作文（原文を漢字に直しています）です。よくつかわれるお話なので、読んだことがある方もいらっしゃるかもしれません。努力（チャレンジ）の結果は、すぐに表れることは少ないかもしれません。もしかしたら結果がでないこともあるかもしれません。でも、あきらめず努力する姿、チャレンジする姿を**応援できる人**に私はなりたいと思っています。**チャレンジ！小木っ子！**

努力のつぼ（HPでは掲載していません）

# 小木の子 われら

校区内  
全戸回覧

令和7年6月 日発行

## 思いは見えないけれど、思いやりは見える

～ 「自分の思いを、どのようにカタチにしますか」の巻 ～

校長 本間 智英

早いもので、1学期も残りひと月をきりました。おうちの方には、水筒や水泳道具の準備等、様々な面でご支援、ご協力いただきありがとうございます。



6月19日(木) 修学旅行に出発  
「6年生いってらっしゃい」の前で

6月はいじめ見逃しゼロ強調月間でした。小木小学校では、各学年で「ふわふわ言葉」を集めたり、いじめ防止の標語を考えたりする取組を行いました。また、**道徳の授業**では、いじめ防止にかかわる内容の授業を行いました。

上記のタイトルは、2011年3月11日東日本大震災後、コマーシャルで流れたフレーズです。ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これは、宮澤章二さんの著書『行為の意味 青春前期のきみたちに』から引用(右記)されたものです。

6年生の修学旅行当日、児童玄関に(右上写真)、「6年生いってらっしゃい」の文字が2つ貼られていました。上は5年生が、下は1年生が作ったものだそうです(1年生の文字が見えずすみません)。この文字を見て、お世話になっている6年生への**感謝の気持ち**を**カタチ**にしたものだと思うとともに、右の詩を思い出しました。この文字を見た6年生はどんな気持ちだったでしょう。私は、とても温かい気持ちになりました。

このように、**自分がされてうれしいこと、喜ぶことを考えた言動**が増えれば、さらに温かく、優しい気持ちに包まれた小木小学校になるのだろう、と考えた修学旅行前の一場面でした。

### 行為の意味

HPには掲載しません

引用：宮澤章二(2010)『行為の意味 青春前期のきみたちに』  
(ごま書房新社)

# 小木の子 われら

校 区 内  
全 戸 回 覧

令和7年7月24日発行

## とことん極める夏！

～「自分の好きなこと、得意なこと、知りたいことを見付け、とことんかかわってみよう」の巻～

校長 本間 智英

本日、1学期74日間が終了しました。保護者、地域の皆様には、小木小学校の教育活動に対したくさんのご支援とご協力をいただきました。また、温かい言葉も掛けていただき、子どもたちはもちろん、私たち職員もやる気をもって、元気に1学期を過ごすことができました。

ありがとうございました。



願いが叶いますように  
七夕集会（7/1）

さて、明日から32日間の長い夏休みが始まります。私には二人の息子がいます。子どもは親の思ったようになかなか動いてくれず（思ったように動く子どもでも困りますが）、お恥ずかしい話、二人とも夏休みの終わりに慌てて課題を行うことが毎年の恒例でした。そして、来年こそは…、と親子で反省していたことを思い出します。

おうちの方もご多用の日々かと思いますが、何日かに1回、お子さんの生活の様子を確認し、励ましの声掛けをお願いいたします。そして、お子さんの頑張りを、ぜひ、褒めたり認めたりしてください。



また、せっかくの長期休みです。じっくり時間をつかって、何かに没頭する経験や体験ができるといいなあ、と願っています。「**自分はこれが好き！得意！**」といったものを見付ける夏、周りの人から

「〇〇博士」「〇〇名人」などと呼ばれるきっかけの夏になると最高ですね。自分が好きなこと、得意なこと、興味をもっていることを見付け、とことんかかわり、充実した夏休みになることを祈っています。



8月26日（火）、子どもたちがたくさんの思い出をもって登校するのを楽しみに、児童玄関で待っています。